

~~~~~ ○ ~~~~~  
午前10時00分 開会

○副議長（松本英隆君）

副議長の松本でございます。

本臨時会について、林議長より欠席届が提出されましたので、地方自治法第106条第1項の規定に基づき、私が議会を進めさせていただきます。

皆様、御協力よろしくお祈いします。

ただいまの出席議員数は10人です。定足数に達していますので、ただいまから令和4年7月大治町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

日程に入ります前に黙禱を行いたいと思います。皆様、御起立ください。

令和4年7月8日、民主主義の根幹である選挙活動中に筆舌に尽くしがたい蛮行により安倍晋三元内閣総理大臣が御逝去されました。8年8カ月という総理として歴代最長の在任期間中に我が国が直面する困難な諸課題に懸命に取り組んでこられました。安倍元総理の御功績に深甚なる敬意を表すとともに、心より御冥福をお祈りいたします。

黙禱。

[黙 禱]

○副議長（松本英隆君）

お直りください。御着席ください。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、10番林 哲秀議員、12番下方繁孝議員を指名します。

日程第2、会期の決定についてを議題とします。

議会運営委員長から会期の報告を求めます。

○議会運営委員長（下方繁孝君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

議会運営委員長。

○議会運営委員長 下方 繁孝

本日、議会運営委員会を開会し、令和4年7月大治町議会臨時会の会期を本日1日限りと決定しましたので御報告申し上げます。

○副議長（松本英隆君）

お諮りします。

議会運営委員長の報告どおり、会期は本日1日間とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○副議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第3、議案第39号令和4年度大治町一般会計補正予算（第4号）を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

○町長（村上昌生君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

町長、どうぞ。

○町長（村上昌生君）

議案第39号令和4年度大治町一般会計補正予算（第4号）。

令和4年度大治町の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条第1項、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億5795万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ99億1553万1000円とする。

第1条第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。令和4年7月19日提出、大治町長。

今回の補正の内容は、歳出におきましては、物価高騰の影響を受けながらも児童に対して安定的な給食を提供している保育所等を支援するため、保育所等給食費軽減対策支援補助金として518万6000円を計上し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済を支援するとともに、物価高騰の影響を受けた全町民に対して商品券を配布し、利用してもらうため、大治町商品券交付事業費として1億5142万4000円を計上し、大治小学校の職員駐車場として土地を追加で借り上げ、整備する経費として134万7000円増額するものでございます。

歳入におきましては、これらの財源として保育所等給食費軽減対策支援金として345万6000円を計上し、財政調整基金繰入金を1億5450万1000円増額するものでございます。

○副議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○1番（鈴木 満君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

1番鈴木 満議員。

○1番（鈴木 満君）

1番鈴木 満です。大治町商品券交付事業費について、お聞きしたいと思います。

今回、1人3,000円の商品券をなぜこの時期に出してきたのか、教えていただきたい  
と思います。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

本事業につきましては、物価高騰の影響を受けました全町民に対して生活の支援とい  
う形も目的に含んでおります。そのため今回もともとプレミアム付商品券を参考にいた  
しましたので、プレミアム率である30%分の3,000円を設定して考えさせていただいたも  
のでございます。

○副議長（松本英隆君）

ほかに。

○1番（鈴木 満君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

1番鈴木 満議員。

○1番（鈴木 満君）

商品券の使用期限が2月となっていますが、なぜ2月なのでしょう。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

商品券の使用期限につきましては、いろいろ検討をさせていただきました。極力長く  
使えるようにというふうに検討をさせていただきましたが、こちらの方を国の地方創生  
臨時交付金を活用して事業を行っていきたいと考えております。そのため3月末までに  
全ての商品券の換金につきまして完了をしておらなければならないということが前提と  
なっておりまいますので、そこからタイムスケジュールを考えますと2月19日金曜日、こ  
こが限界だという形で考えさせていただいたものでございます。

○副議長（松本英隆君）

ほかにありますか。

○2番（鈴木康友君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

2番鈴木康友議員。

○2番（鈴木康友君）

2番鈴木康友です。同じく13ページ、商品券交付事業費について伺いたいと思います。

まず、商品券の使用期間が先ほどの質問にもありましたが2月19日までということで、こちらについての使用期限が過ぎたものについての取り扱いはどのようになるかということと、あと商品券の取り扱い店舗、こちらにつきまして募集、公募によって募集するとありますが、期間または期間を設けた後に追加で参加することができる等の店舗取り扱いの参加のものについて詳細を教えてください。

続きまして、商品券使用についての文言の中で、「その他町長が商品券の使用を不適切と認めるもの」ということでプレミアム商品券等の発行に関して、こういうものが該当するという具体的な事例がありましたら教えてください。以上です。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

まず、1番目ですね。使用期限を過ぎた商品券につきましては使用できないという形で考えております。

続きまして、店舗の募集の期間でございますが、こちらにつきましては9月から1カ月程度を今のところ考えてございます。その後の参加希望がある店舗につきましては順次加えていくような形で考えております。

また、説明資料の方の町長が不相当と認めるものという形で記載はしてございますが、今のところ特にこういう形を想定しているというものはございません。以上でございます。

○副議長（松本英隆君）

他にございませんか。

○6番（若山照洋君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

6番若山議員。

○6番（若山照洋君）

6番若山照洋です。13ページ同じですね、大治町商品券交付事業費の中で、そもそもその商品券の3,000円にした理由。多分プレミアム分の3,000円だと思うんですが、2,000円、20%とか50%じゃなくて30%に定めた理由というのは何かあるんでしょうか。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

3,000円の理由でございますが、こちらプレミアム付商品券、周囲の自治体、多々実施してございます。そういった中、見させていただきまして大体30%のプレミアム率が多いという形ではございましたので、今回我々どもの事業につきましても30%の3,000円という形で考えさせていただいたものでございます。

○副議長（松本英隆君）

他にございませんか。

○6番（若山照洋君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

6番若山照洋議員。

○6番（若山照洋君）

続きまして、先ほどの議案説明の中で一人一人に送るという郵送するという話だったんですが、これ1世帯当たりでまとめて送ったほうが郵送費は安くなると思うんですが、それを一人一人にした理由というのは何かあるんでしょうか。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

確かに郵送料につきましては世帯で発送したほうが安くつくということでございます。しかしながら、今回の事業につきましてはより多くの方、できれば対象者の方お一人お一人にご活用いただきたいという部分ではございましたので、今回お一人お一人に簡易書留で配達費用をとりながら実施していくという形で考えさせていただいたものでございます。

○副議長（松本英隆君）

他にございませんか。

○10番（林 哲秀君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

林 哲秀議員。

○10番（林 哲秀君）

10番林 哲秀でございます。私も13ページのこの商品券の件につきまして、大変いいことだもんですからありがたいことだと思っておりますが、ただ、今日から含めて3カ月、10月中旬ごろ発送ということなんです、これが早くなるということがある可能性はあるかということと、もう1つ、3カ月かかるという、私ちょっと行政側におらんで業務委託のことはよくわかりませんが、なぜこう3カ月もかかるのかということなんですよね。皆さん、御存じのようにマイナンバーをいろいろつくって住民基本台帳もしっかりしてきておると思いますが、最大のネックということは何かということと、10月中旬が前倒しになることがあるかというこの2点お聞きしたいんですが。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

まず発送につきまして、早くなるかという御質問でございます。こちらにつきましては、今のところタイムスケジュールから考えさせていただいて10月中旬というふうに今回資料をお出ししておりますので、今のところ早くなる見込みはないかなと考えております。

続きまして、なぜ3カ月もかかるのかという御質問でございますが、これから当然委託業者等を決めながら、商品券についてもこれから印刷して準備等を行っていきますので、もちろん参加希望店につきましても募集をかけるという期間が必要になってまいりますので、この期間を考えさせていただいたものでございます。

○10番（林 哲秀君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

10番林 哲秀議員。

○10番（林 哲秀君）

林 哲秀でございます。今までいろんな形で発送してみえると思いますが、これから業者を選別されるということなんです、今までよくやってくれたなという部分の業者が多分頭の中にあると思いますが、そういう方たちを使ってでもこのくらい時間がかかるということによろしいですか。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

本件の委託に関しましては2つに分けておりまして、1件は宛名印刷。こちらにつきましては基幹業務を請け負っているところに仕様としてやっていただくように考えてはございますが、もう1件の方、包括的な委託につきましては入札で考えておりますのでよろしくお願ひします。

○副議長（松本英隆君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。何点か質問させていただきます。

まず、6ページ7ページ、民生費県補助金についてでございます。保育所等給食費軽減対策支援金で上がっておりますが、大治町で保育所等の給食費支援ですね、補助したことが私議員になってからはなかったと思うんです。今回、愛知県がこういう補助金を出してきた。これも愛知県も初めてなのか、以前もあったのか。そこら辺どうなのかということをお聞きします。

次に、10ページ11ページでございます。今度は歳出についてでございますが、議案説明会の中で令和4年4月から9月までを対象とするというふうに私はお聞きしたんですが、これで間違いはないのでしょうか。なぜかという、小中学校の給食費補助の場合はあとの費用に対して補助をいたしました。今回、もうかかっている費用、4月になるとだと思いますがそこら辺どうなのかということをお聞きします。

次に、12ページ13ページ、商品券のことでございます。その他資料を見ていただきましたんですが、その他資料の中の2の商品券の配布の中の配布対象者で令和4年9月1日時点において大治町の住民基本台帳に記録されている者と、これはわかります。ただ、次ですね。基準日以降に死亡及び転出した者は除くとありますが、9月1日時点で住民基本台帳に登録してある、記録してある。それで発送のデータなどの委託をかけると思うんですよ。発送する前に死亡した方、転出した方をチェックして除くんですか。

また、発送した後、亡くなった方、転出した方はどうやって除くんですか。ここら辺令和4年9月1日に基準日を設けたらそれはそれで除く必要はないと。死亡されたら当然権利として相続人が引き継ぐわけですから、そこら辺も含めてここら辺きちっとこの

条文で対応できるのかということをお聞きしたいと思います。

あと、先ほどの他の議員の中で商品券を一人一人に送ると。私もそれがいいと思うので、結局世帯ごとに送るとするのは結局事務手続的にやっぱり難しいんじゃないかと。やっぱり一人一人のほうが簡単ではないのかと思うんですが、そこら辺発送の手間はどのようなかということですね。

あと、商品券で委託で2つ。1つは発送などのデータの関係ですね。商品券の印刷は入札。具体的に一般競争入札なのか指名競争入札なのか。またもう1つの基幹業務に委託する方は随意契約。これはどういう契約なのか。以上お聞きしたいと思います。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

まず1番最初に県の対策支援金につきまして、以前はあったかということですが、ここ数年でこういう補助はなかったかと思います。

続きまして、歳出の方の支援補助金ですが、県が私立保育所等を対象に4月から9月に対応するものでございますのでよろしく願いいたします。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

まず、基準日以降に死亡または転出した方については、役場の方で個人個人発送前に抜き取ります。そのように考えております。

また、個人個人の発送の手間の御質問でございますが、確かに世帯世帯、世帯の構成数違うと思うので、そこら辺の管理というのは必要になってきますが、今回のものについては先ほども申しましたが、個人個人に使っていただきたいという名目で個人に宛てて発送するという考えでございます。

また、委託についてデータ関連の宛名につきましては基幹業務の方へ随意契約を今のところ考えてございますが、その他の包括的な委託につきましては指名競争入札で物品の方で考えてございます。

○副議長（松本英隆君）

他に。

○9番（吉原経夫君）

議長。



○副議長（松本英隆君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原でございます。まず保育所等の給食費の問題でございますが、県が令和4年4月から9月を対象にしているとそれは理解できましたが、実際に4月というと、4月5月はもう給食費は保護者が園などに払われていると思うんですよ。その補助、1食当たり40円ですね。園などに補助するのか、保護者に直接補助するのか。だって、値上がりを見越してやっぱり保育園等は給食費実費請求されておられると思うのでやられていると思うんですよ。だから、補助を打つとしたら保護者に過去の分に関しては保護者に打たなきゃいけないと思うんですが、そこら辺どうなっているのか。

あと、商品券の基準日のことでございますが、先ほど課長は抜き取ると言いましたが、抜き取るにしても3万3000以上ある。同一日で抜き取ればいいですけど、日にちが違ってくる、いつを基準日にするんですか。結局、その時点で住民票があるかないか。その基準日を決めなければ公平性が保てないと思うんですが、抜き取るのは抜き取るでいいんですよ。その基準日をきちっと決めるべきじゃないですか。以上2点お聞きいたします。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

この事業につきましては、保護者負担の増額をせずに行っている事業者に対して補助するものでございますのでよろしくお願いいたします。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

抜き取りにつきましては、今のところ発送日を10月中旬、今のところ10月17日を考えてございますが、そこまで1件1件について管理をしていくという考えでございます。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原でございます。今の子育て支援課長の話で値上げをしなかったところに関してだけ補助を打つという話でしたが、令和4年3月の給食費と4月以降の給食費、値上がりがあったところは補助を打たない。値上げをしなかった事業所だけ打つという考えなのか、若干でも上げたけれども40円まで認めないので足りない分を補助するのか。そこら辺保育所等、4月以降給食費に関して上げたのか、上げていないのか、どのように把握をされておられるのでしょうか。

また、今、産業環境課長から10月17日ですかね、そういう日にちを言われまして、ということはその日にちが基準日でその日までに転出また死亡された方は対象じゃないと。ただ、9月2日以降転入された方で10月17日住民票ある方に関しては対象としないということだと思うんですが、やっぱりそういう不平等、不自然なことよりも基準日をきちっと決めてその日に住民票があるかないかで僕は判断すべきだと思うんですよ。だって、この基準日以降に死亡及び転出した者を除くといっても10月18日以降は亡くなられた方、転出した方どうするのかと。ちょっとタイムラグの関係で現金書留……

○副議長（松本英隆君）

吉原議員、その9月何日以降の人はどうするかという質問。

○9番（吉原経夫君）

はい、10月17日以降もあります。そこら辺を……

○副議長（松本英隆君）

その人たちはどうするかという質問でいいですか。

○9番（吉原経夫君）

はい、そういうことです。

○副議長（松本英隆君）

では、お座りください。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

先ほども申し上げましたように、保護者負担を増額している場合は対象となりません。現在、管内、大治町内の保育所等に確認したところ、全ての保育所等保護者負担は増額しておりませんでしたのでよろしくお願いいたします。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

当然、対象の基準日としましては9月1日というふうに考えてはございますが、その後につきまして転出や死亡された方については個人個人に送らせていただきますので、到達しなくてこちらの方へ戻ってくるというふうに考えられますので、今回一つ一つを役場の方で抜くというふうに考えております。

○副議長（松本英隆君）

ほかにございませつか。

○4番（後藤田麻美子君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

4番後藤田麻美子議員。

○4番（後藤田麻美子君）

4番後藤田麻美子でございます。先ほど来、商品券の件でる皆さんお聞きいただいておりますが、大治町商品券交付事業「はるちゃんげんき応援券」ということで、これは町民にとってはとても喜ばれるのではないかなと思っております。この事業につきまして、周知というのはどのようにされるのでしょうか。よろしくお願ひします。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

議長。

○副議長（松本英隆君）

産業環境課長。

○産業環境課長（鈴木昌樹君）

こちらにつきましては、ホームページ、当然専用のもを作成しながら新聞折り込み等も活用しながら周知に努めていきたいと考えております。

○副議長（松本英隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

議案第39号は、会議規則第39条第3項により委員会の付託を省略したいと思ひますが、これに御異議ございませつか。

〔「異議なし」の声あり〕

○副議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となつております議案第39号は、委員会の付託を省略することに決定いた

しました。

これから討論を行います。

まず、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第39号を採決します。

議案第39号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 全員〕

○副議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので会議を閉じます。

これで令和4年7月大治町議会臨時会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時28分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

副議長 松本英隆

署名議員 林哲秀

署名議員 下方繁孝